

平成23行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	国土地理院施設整備に必要な経費		担当部局庁	国土地理院		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	S53～		担当課室	総務部会計課		秋葉 秀樹	
会計区分	一般会計		施策名	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国土地理院が使用する各種観測施設等の維持のため、必要不可欠な施設の改修を行い安定的な観測の維持・データ収集等に資する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	老朽化した施設や耐用年数を迎える機器等の更新など真にやむを得ない施設の改修を実施。 平成22年度 ・日本経緯度原点の周辺整備 ・VLBI施設補修 ・自動火災報知設備更新 平成21年度 ・高精度自動験潮儀3式の更新 ・VLBIアンテナ施設補修 ・直流電源設備の更新 ・画像工学精密機械試験場耐震改修 平成20年度 ・高精度自動験潮儀3式の更新 ・VLBIアンテナ施設補修 ・公共測量成果メディア保管室の設置 ・図書館電動式移動書架改造						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	139	145	92	66	63
		補正予算				209	
		繰越し等	△ 31	△ 22	20	69	
	計	109	123	112	344	63	
	執行額	109	121	109			
執行率 (%)	100.0%	98.4%	97.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	施設の維持等のための経費であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。	成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	施設の維持等のための経費であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。	活動実績 (当初見込み)				() ()	-
単位当たりコスト	-		算出根拠	事業単位当たりのコストの概念が当てはまらない			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	66	63				
	計	66	63				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>発注先の選定に当たっては、透明性及び公平性の確保を図る観点から、一般競争入札による手続きを経たうえで、発注先を特定し、請負契約を締結している。</p> <p>国土交通省(国土地理院)が自ら又は支出委任により国土交通省(関東地方整備局)が行う契約に基づき支出していること、また関東地方整備局からの進捗状況の報告など省内の連携を密に行うことにより、支出先及び使途について明確に把握している。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 老朽化した施設の改修や耐用年数を迎える機器等の更新など、真にやむを得ない必要最小限のものに限定し実施。</p>		
	一部改善④	引き続き、必要最小限のものに限定し、さらに重点化の上行う。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
重点化を行い必要最低限のものに限定。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国土地理院
109百万円

〔
老朽化した観測機器の更新、軽微な施設の整備
〕

【一般競争入札】
A. 民間(3社)
20百万円

〔
観測施設の機器の補修・更新、日本経緯度原点周辺の整備の実施。
〕

関東地方整備局
89百万円

〔
庁舎及び各種設備等の改修
〕

【一般競争入札】
B. 民間(2社)
89百万円

〔
施設棟(画像工学精密機械試験場)の建築改修工事及び機械設備改修その他の実施。
〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. (株)タカタ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	日本経緯度原点周辺整備	9			
計		9	計		0
B. 関彰エンジニアリング(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	画像工学精密機械試験場機械設備 改修その他工事	48			
計		48	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)タカタ	日本経緯度原点の周辺整備	9	3	95.2%
2	コスモリサーチ(株)	VLBI施設の補修(周波数変換装置)	8	1	95.9%
3	(株)ホサカ	VLBI施設の補修(極小型VLBIデータ処理装置、アンテナ監視装置)	4	1	90.6%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	関彰エンジニアリング(株)	画像工学精密機械試験場機械設備改修その他工事	48	3	94.7%
2	大昭建設(株)	画像工学精密機械試験場建築改修工事	41	10	99.9%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					